

2025年第72回応用物理学会春季学術講演会シンポジウムT14

プラズマ活性溶液とその応用

Plasma-activated solutions and their applications

2025年3月15日 (土) 13:30開始

プラズマ照射した溶液（ここではプラズマ活性溶液と呼ぶ）の研究は、バイオや環境科学など様々な分野で応用・実用化が進んでいる。その一方で今後の更なる技術発展のため、液中放電の効率改善や活性種量増加、ターゲットとの反応制御等、解決すべき課題が多く残る。本シンポジウムでは、液中プラズマ放電、並びにプラズマ活性溶液に関する基礎技術や応用事例を紹介し、今後注力し解決すべき課題とその解決指針を明確化することを目的とする。

【招待講演者】

白藤 立（大阪公立大学）

高効率液体処理用プラズマ源の開発

堀部 博志（栗田製作所）

液中プラズマ電源

宗岡 均（東京大学）

フェムト秒レーザーによるプラズマ活性溶液の生成と無機微粒子改質プロセスへの応用

竹内 希（東京工業大学）

気液界面プラズマを用いた水処理技術の開発

原 宏和（岐阜薬科大学）

プラズマ活性溶液によるがん治療研究

伊藤 昌文（名城大学）

ラジカル活性化アミノ酸溶液の開発とその応用

近藤 隆（名古屋大学）

低温プラズマ誘発アミノ酸ラジカルに関するスピン捕捉法による検討



主催：プラズマエレクトロニクス分委会

世話人：田中 宏昌（名古屋大学） 谷出 敦（SCREENホールディングス），

平松 亮（ウイスタデジタル）